

KIBO NO NIJI

きぼうの虹

発行所
 北海道大学生協同組合
 札幌市北区北8条西7丁目
 教職員委員会編集
 電話 011-746-6218

主な記事紹介

- 二面 **北大生×ジンパ**
- 四～五面 **ニホンザルこぼれ話 第12話**
- 七面 **大学文書館へ行こう 第17回**

EzoliNK 風張 喜子
 地域個体群研究会
 北海道文書館学井上 高聡



「神は細部に宿る」という言葉がある。ドイツの建築家ルートヴィヒの言葉であり、真に美しいものはディテール（細部）までこだわり抜かれているという意味で捉えられることが多いと思う。ただし、この言葉の本質は、単に細部に拘れということではない。「木を見て森を見ず」という言葉にもある様に、全体の美しさを見失ってしまうと、いくら細部に拘ったところで、そこに宿るのは神ではなく悪魔かもしれない。この言葉の本質は、細部と全体の繋がりにある。

我々が自然を美しいと感じるのは、全体とそれを構成する細部との調和があるからかもしれない。世界的に有名な絵師である葛飾北斎が、代表作である富嶽三十六景「神奈川沖浪裏」（かながわおきなみうら）に表現した海の波は、人が乗った手漕ぎ舟を飲み込む様な巨大な波の中に、小さな波、そして、しぶきが表現されている。これは成長した波が、その一生を終える砕波の特徴を見事に表しているのである。北斎の目は、自然の美

ろで、我々研究者は広大な大気と海洋をどのように観察しているのか？現代の海洋学・気象学においては、それは人工衛星を抜きには語れない。衛星観測の価値は、登場した当初は、細部はともかく全体を俯瞰できるといふ点にあった。しかし最近ではセンサーの高度化により、その

俯瞰から細部を見る

北海道大学大学院
地球環境科学研究院
准教授
富田 裕之



Opinion!

筆者の仕事は大気と海洋の研究である。研究の目的は北斎の様に美や表現を追求することではないが、自然の観察に根差すという点は共通であろう。この

しらの本質を見抜いていたと言える。

昨年12月、米仏によって地球の衛星軌道に新しいセンサーSWOTが加わった。SWOTは海面高度を計測するセンサーであるが、合成開口レーダー干渉計という技術により、これまでよりも圧倒的に高い解像度で面的にデータを取得できるのが特徴だ。また日本も気象学・海洋学にとって重要な改良型マイクロ波放射計AMSR3の打ち上げを近々に予定している。これらの新しいセンサーがもたらす高解像度データは、衛星観測の新しい価値をさらに高めてくれるであろう。

北斎はその生涯をかけて「神奈川沖浪裏」の波の表現に辿り着いたとされている。全体を俯瞰しつつ細部を見る。研究者たちはSWOTやAMSR3が見せてくれる新しいデータに神を見ることができようであろうか。



北大生×ジンパ



コロナ禍により利用不可となっていた共用レクリエーションエリアが今年度より利用可能となり、北大伝統の「ジンパ」が復活しました。中央キャンパス総合研究棟西側緑地と中央食堂南側緑地ではこの夏たくさんの学生・教職員が数年ぶりのジンパを楽しみました。



2019年度を最後に、コロナ禍により学内でのジンパは開催できていませんでした。現在の4年生も、学内でのジンパ経験はありません。今年度よりジンパおよびレクリエーションエリアの利用が再開されたことに合わせて、北大生協はジンパ経験のある院生委員および教職員委員、理事などが呼びかけて、学生委員と一緒に「北大の伝統であるジンパを継承していく」ことを目的に、8月10日に「北大生協ジンパデー」を開催しました。

雨予報だった天気はジンパ開催時には晴れわたり、絶好のジンパ日和となりました。経験のある教職員理事や院生が、学生の見守るなか、炭火起こしからレクチャーし、野菜や肉の鍋で



の焼き方まで伝えながら、一緒にジンパ鍋を囲みました。

参加した学生委員は「ジンパは初めて」「どつやだったらしいのかわからなかったが、やってみたら意外と難しくなかった」「一緒に外で鍋を囲むって楽しい」「友達とも気軽にやってみたい」と、大いに盛り上がりました。教える側の院生や教職員も「久しぶりだったけど、やり始めたら思い出した」「火をおこすのがテンション上がるね」「ジンパの灯を引き継いでいってほしい」と感想を述べていました。

ジンパセットのお申込みとレクリエーションエリア利用申し込みは、中央食堂まで。お渡し日の3日前(土日祝を除く)まで

にお申し込みください。10月27日(金)利用分まで。詳しくは「北大生協ジンパセット」で検索。

2023年10月20日(金)
新入留学生
Welcome Party開催!

コロナ禍でここ数年開催できていませんでしたが、生協留学生委員会も復活し、新入留学生のためのウェルカムパーティーを4年ぶりに開催いたします。10月20日(金)18時30分より中央食堂二階にて開催いたします。詳細や申込方法などは、店頭ポスターや北大生協ホームページなどでご案内いたします。定員に達した時点で申込終了となりますのでご了承ください。

いじわるじいさん

猛暑日の午後、ゴミ収集車のボヤに遭遇した。車道には消防車と背中を向けた青い収集車。下に大量のゴミが広がっていた。歩道では、数人が黒く焦げた卓上扇風機を囲んでいた。清掃員の一人が運転席から煙が見えたと言い、私に通行の妨げを詫言った▼数時間後、車道に車はなかった。酷暑の中、次の集積所に向かったのだろう。札幌市では収集車の火災が増加傾向にあるという。清掃工場内の破碎工程で爆発することも度々らしい。スプレー缶等がゴミ袋に潜んでいるの事故だ▼お笑い芸人でゴミ清掃員の滝沢秀一が、夏も冬も集積所から集積所へ走り続ける体験を著書に表している(漫画『ゴミ清掃員の日常』他)。汁が残っているカップ味噌汁、可燃ゴミに潜むモバイルバッテリー、食べられる山のような食品廃棄物。度肝を抜かれることが続く▼軽妙な語り口だが、収集車の火災については、「そんなつもりはないのはわかるが、清掃員の立場から見ると殺人未遂にさえ思えてしまう」と書く。実感だろう。ボヤ現場の重苦しい空気が蘇る▼滝沢は、電池やカセットボンベ等は、販売会社が捨て方まで周知させて欲しい、と売る責任を訴えているが、市民にも消費者の責任があるだろう。安全な捨て方を知らなかったでは済まない。(今日子)

SDGs

連載 第3回

「国際会議とSDGs」

北海道大学SDGs事業推進本部 教授 加藤 悟



タイムズ・ハイヤー・エデュケーション (THE、イギリスのタイムズが発行する高等教育情報誌) が、高等教育機関 (主に大学) をSDGsの枠組みで評価するインパクトランキング。北海道大学は2022年に世界10位、2023年に世界22位となり、4年連続で日本1位を獲得している。そのTHEのアジア太平洋地区代表より、これをたたえる楯が北海道大学に授与された。北大時報2023年8月号の表紙を飾り、総合博物館でもその楯が展示されている。ぜひ多くの人に見てもらいたい。

そのTHEが主催するSDGsに関する国際会議「Global Sustainable Development Congress (GSDC、世界持続可能な開発会議)」が、2023年5月末から4日間、サウジアラビア・ジェッダ近くのキング・アブドゥッラー科学技術大学 (KAUST) で開催され、北海道大学のSDGs担当である横田篤理事、国際部の秦絵里部長とともに、参加させていただく機会を得た。



会議は、67か国から538の組織が参加し、約170のスピーカーが登場し、約1,600人が参加した。

全体としては、新型コロナウイルスからの回復と、デジタル技術の教育への活用が、ベースの話題であった。現場で実際に体験し、人から人が学ぶことの重要性を再認識するとともに、教育サービスを受けることが難しい発展途上国や難民に対して、多言語によるオンラインコースを提供することで、教育への平等なアクセスを実現することの必要性を確認した。また、会議全体のセッティングとして、各国政府関係者や企業そして社会からの招待登壇者を多く迎え、それらの団体とのパートナーシップを形成することの重要性を強く認識させるものであった。

そんな中で、筆者が特に感じたことは次の2つであった。

まず、国際会議での共通言語としてSDGsが用いられているという事実である。SDGsの目標やターゲットの番号などによって、世界の人々がコミュニケーションを図っている。

例えば、都市のモビリティのセッションに参加した際にも、Goal 11 Sustainable Cities and Communities「住み続けられるまちづくりを」の視点から議論が進められるが、Goal 13のタイトルが示された後、Climate Actionの観点から、モビリティの動力源について議論がなされる。Goal 15のタイトルが示されると、Life On Landの観点から、生き物たちが鉄道を渡れるようなトンネルについての議論が展開されるという感じである。

学術論文も研究業績分析ツールのSciValやInCitesにより、使用した単語から自動的にSDGsに紐付けがされる。もはやSDGsが共通言語となっている。

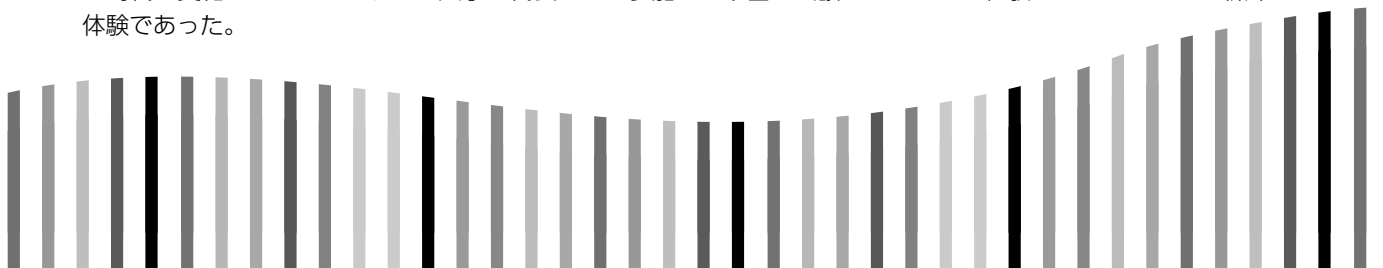
もう一つは、組織としての大学の動きである。これは日本の大学からの参加が北海道大学だけであったことと関係する。たしかに、北海道大学が今年GSDCに参加したのは2022で世界10位を取り、特別に招待を受けたためだが、多くの日本の大学がSDGsに取り組み、インパクトランキングを意識しているにもかかわらず、このような国際会議に参加する大学はない。

GSDCのような国際会議は、特定分野の研究者が参加する国際学会とは異なり、大学組織として対応する会議だが、日本の大学は専門分野の研究者主導であるため、うまく対応できていない。コーヒープレイクなどコミュニケーションをとると、最初は直前のセッションでのトピックの振り返りとなるが、次第にその人の所属する大学の話になっていく。組織としての参加が意識されているのである。

時代の変化もあるのだろうが、大学の代表として参加した今回の会議は、これまで経験したことのない、新鮮な体験であった。



登壇する横田理事



ニホンザル こぼれ話

■第12話■

えぞりんく EzoLin-K・地域個体群研究会 風張 喜子

子ザルたちの度胸だめし!?

今年の夏は、札幌で観測史上初の35℃越えが記録されました。ほんと、暑かったですね。北海道の多くの家がそうだと思いますが、クーラーのない我が家でも寝苦しい夜が続きました。保冷剤を抱きしめながら寝た人も多かったのではないのでしょうか？涙ぐましい努力が功を奏し(?)、我が家は酷暑を無事に乗り切りました。

さて、そんなクソ暑い夏、サルたちはどうしているでしょう？じりじりと日に焼かれ、暑苦しきセミの声を浴びて、背丈を超

すワラビに足を取られながらいつもの群れを探します。春にはくるっと巻いた先端が美味しそう

でかわいいワラビですが、こんなに元気に大きくなるとちよつとげんなりしちゃいます。でも、

こんな暑い場所に長居は無用。いつもの所に行ってみよう。この時期、

群れが食事や休憩のためにほとんど毎日決まって長居する場所が、いくつかあります。動物園なんかで見ると騒がしいイメージの強いニホンザルですが、秋の交尾期でもなければ休憩中は静かです。うっかり見逃してしまわないように、物音に耳を澄ましてサル

の匂いにも気を付けながらいくつかのお気に入りスポットを巡ります。

ある日、群れは沢筋の木陰でまったりと休んでいました。お気に入りスポットのひとつです。



淵に集まる子ザルたち

森の中は心なしかひんやり。それに沢のそばは風も通りやすくて過ごしやすそうです。それでも、さすがに暑いのでは？と思います。0歳、1歳の小さな子ザルたちは母ザルにべったりとくっついて眠っています。しばらくすると、エネルギーがチャージされたのか、じっとしていられなくなった子ザルたちが沢で遊び始めました。そして、1頭が水に手を浸してバ

シャバシャと動かしします。それを見た仲間たちも、つぎつぎに水に手を浸し始めます。でも、まだ手だけ。そのうちに、そろそろりと足も水につける子ザルが出てきました。そうこうするうちに、子ザルたちはお互いに追いかけてこしながら、枝から枝に飛び移ったり、浅瀬めがけてジャンプをしたりと大盛り上がりです。中には体全体を水につけて淵で泳ぎ始める子もいます。おっ、潜ってる、潜ってる!! 見ているこっちまで、なんだか愉快的気分になってきます。

でも、よく見てみると、泳いでいるのはたったの2頭だけ。あの子ザルたちは浅瀬めがけて飛び込むものの一瞬水につかるだけでそそくさと沢から上がってしまします。それに、体が完全に岸から離れるのが怖いのか、後ろ足で岸を掴みつつ前のめりになりながらちよつと辛そうな体勢でおそろおそろ水を触っている子ザルも。こうしてみると水遊びのやり方は子ザルそれぞれ。わたしたちにも大胆なひと、臆病なひとなど個性があるように、サルにも個性があ

るようです。

オトナのサルたちはというと、水辺で大盛り上がりの子ザルたちを横目に、相変わらずごろごろと過ごしています。ひとしきり盛り上がった後、潜ってびちよびちよの子ザルは母ザルのもとに戻っていききました。

あれから10年。何度もあの沢筋で休んでいるのに、子ザルたちの水遊びを見たのはそれっきり。この群れの子ザルたちは、ふだんから水遊びをするわけはないみたいです。最初はおそろおそろ水に触る子ザルが多



泳ぐ子ザル



手だけ水につけてみる。水の中に何かいるのかな？

かったのも頷けます。あの日はたまたま意気投合して、涼を楽しむ度胸試し大会が出来上がったのかも知れません。

あの日の子ザルたちも、今はすっかりオトナ。いつものお気に入りに入りスポットで、子ザルたちが賑やかに遊びまわるのを横目にゴロゴロ過ごしています。

ところで、わたしの調査地では、餌を与えてサルを人に慣らすのではなく、人付けという方法で時間をかけて自分たちの存在に慣れてもらっています。長い時間群れについて歩くと、こちらの動きをそれほど気にする

そぶりも見せずに過ごしてくれようになりませう。何だと思われているのか、そばを素通りされることもしょっちゅうです。だからつい、群れのサルたちにふつうに受け入れられているかのように錯覚してしまいましたが、彼女・彼らにとつてわたしたち研究者がどんな存在なのか、垣間見えるような出来事がありました。

2か月ほぼ毎日、群れについて歩いてきた時でした。群れの休憩中、大きな岩の上に座っていると、ふと、背後に気配を感じます。振り返ると、オスの子ザルが連れ立って2頭。わたしの背中に手を伸ばしているではありませんか！でも、振り返った瞬間に、驚いた表情で手を引っ込めてトコトコと離れていきました。それから10分も経たないうちに、振り返るとおんなじ子ザルが2頭。やっぱり背中に触ろうとします。もしかして、度胸試しに使われてる!? 結局、2回の度胸試しは失敗に終わりましたが、子ザルたちの遊びに巻き込まれたのは初めてです。観察対象とのふれあいなんで褒められたことではありま

せんが、ドキドキしながら3度目を期待してしまいました。残念ながら(？)、3度目はありませんでしたが。

オトナのサルに比べると子ザルは好奇心旺盛です。ふだんから、オトナの目には留まらないような、いろんな物を見つけてきてはいじくって遊びます。オトナたちは、特に害がないからわたしにわざわざ注目しないけれど、子ザルたちは一日中ついでくる自分たちとは違う変な奴のことがずっと気になっていたのでしょう。『背中タッチ』の度胸試しは、そんな子ザルたちの

意気投合の結果なのかも知れません。

わたしたちヒトでは「三つ子の魂百まで」と言いますね。幼いころの性格は年をとっても変わらない、というような意味ですが、ニホンザルではどうでしょうか？水辺の度胸試しでは、子ザルたちそれぞれの大胆さや慎重さ、臆病さが透けて見えるようでした。サルもやっぱり「三つ子の魂百まで」なのか、じっくり追跡してみるのもまた楽しそうです。



調査中の研究者とサル。

クラーク書籍便り Vol.16			クラーク 8月一般書ランキング			
書名	著者名	出版社	書名	著者名	出版社	
1 北海道大学 (理系-前期日程) 2024	教学社編集部	教学社	6 TOEIC L&Rテスト文法問題でる1000問	T E X加藤	アスク出版	
2 検証ナチスは「良いこと」もしたのか?	小野寺拓也	岩波書店	7 アンと愛情	坂木司	光文社	
3 北海道大学 (文系-前期日程) 2024	教学社編集部	教学社	8 客観性の落とし穴	村上靖彦	筑摩書房	
4 精神の生態学へ 下	グレゴリー・ペイトソン	岩波書店	9 サガレン樺太／サハリン境界を旅する	梯久美子	KADOKAWA	
5 TOEIC L&R TEST 出る単特急金のフレーズ	T E X加藤	朝日新聞出版	10 君たちはどう生きるか	吉野源三郎	岩波書店	

1位・3位の「赤本」は久々にオープンキャンパスで販売しました。北大生協で購入するとご利益があるとかないとか……。5位「TOEIC L&R Test 出る単特急金のフレーズ」は変わらず好調をキープ。2位「検証ナチスは良いことでもしたのか?」は手に取りやすいボリュームのブックレットだからこそ、幅広い層に支持されているんでしょうね。

心とからだ健康を考える

大学院教育学研究院 准教授

渡邊 誠



最近、戦争、犯罪被害、性暴力に関する報道が増えたように感じます。その中で、「PTSD」という言葉をよく見かけます。これはPost-traumatic Stress Disorderの略で、日本語訳は「心的外傷後ストレス障害」です。つまり、「トラウマ(心的外傷)」と呼ばれる非常に強烈なストレス体験の後に起こる、心理的な障害のことを言います。典型的には、戦闘体験、犯罪被害、DV被害、大災害の被災、大事故への遭遇のような、危うく死ぬような、あるいは死ぬのではないかと感じるような体験ですが、それだけにとどまりません。とくに性暴力被害はPTSDの発症率が高いのですが、加害者は顔見知りが多いことが知られています。また、子どもの場合は年齢不相応の性体験は性暴力であり、PTSDの原因となります。さらには、直接体験するだけでなく、他者のトラウマ体験に接することも、PTSDを引き起こす場合があります。

症状は、フラッシュ・バックと呼ばれるトラウマ体験の苦痛で強烈な甦りや、関連する物事を強く避けること、不眠、過敏、憤怒のような、心身が言ってみれば「臨戦態勢」になりっぱなしになっていることによる反応、そして物ごとに対する非常に否定的な認識パターンなどがあります。

人にはストレスに対する柔軟性というか、ストレスを無害なものにするような働きが備わっています。たとえば忘却。つらいこと、苦しいこと、悲しいことの多くは、時が癒してくれるわけです。しかし、この柔軟性にはもちろん限界があり、ある限度を超えて強烈なストレスに対しては上手く機能せず、私たちの心身は別の反応を起します。これがトラウマです。「異常な事態に対する正常な反応」と言われ、その医学的診断がPTSDです。

しかし、数十年前の体験が生々しく心の中に残り続け、何かのきっかけで圧倒的に甦ってきて、まるでその時に戻ってしまったような状態になる、といった苛烈な経験は、体験

こころの健康を考える 82

トラウマは回復する

ウマ記憶を通常の記憶と同等のものに変えてしまうという持続エクスポージャー療法による改善率は、少なめにしても七割です。視覚や身体感覚を通じて左右交互の刺激を与えることで脳に特有の状態をつくり出してトラウマ記憶を処理するというEMDRの有効性も、十分に確認されています。ただしこれは、行う際の準備とタイミングは重要です。また、トラウマに焦点化しない一般的なカウンセリングであっても、二次被害さえ与えなければ効果はあるとの結果が出ています。トラウマに立ち向かおうとすることは、まぎれもない挑戦ですが、そこには絵空事ではない、客観的な希望があることを、ぜひ強調したいと思えます。

していない人が理解するのは、かなり難しいものです。またトラウマに対しては、それを表に出そうとする力と、覆い隠そうとする力の両方が、様々なレベルで陰に陽に働くということが、トラウマの歴史研究により明らかにされています。トラウマは個人レベル、対人レベル、社会レベルにおいて、複雑な反応を引き起こす事象です。

現在の日本社会では、トラウマを表に出そうとする力が働いているように見え、その中で苛酷で戦慄的な体験が一般にも報道されるようになりました。その際、一生の傷、といった表現が使われることがあり、その苛酷さと相まって、トラウマは治らない、という印象を与えるかもしれません。でも、そんなことはありません。今では様々な治療法が考案されています。現在、最も推奨され、効果が確認されているのは、トラウマに焦点を絞った心理療法です。たとえば、強力な支持の下でトラウマ体験に段階的に直面することで、「慣れ」を生じさせ、トラウマ記憶を通常の記憶と同等のものに変えてしまうという持続エクスポージャー療法による改善率は、少なめにしても七割です。視覚や身体感覚を通じて左右交互の刺激を与えることで脳に特有の状態をつくり出してトラウマ記憶を処理するというEMDRの有効性も、十分に確認されています。ただしこれは、行う際の準備とタイミングは重要です。また、トラウマに焦点化しない一般的なカウ

ほけんのお話

今回のビッグモーター社(以下、BM社)による保険金不正請求事件は、長期にわたってBM社が故意に損害をつけ加えるなどの悪質な手口で修理金額を水増しし保険金を不正請求してきたことを発端に(このことだけでも重大)、最大手の損保ジャパンがこのことを知りながらBM社への紹介の見返りに自賠責の契約を獲得してきたとして社長辞任という事態になりました。損保ジャパンは損害保険の制度を悪用したBM社と癒着しチェック機能が働かなかった点、自社の社会的立ち位置や企業倫理を軽視した点で責任は重大です。

損害保険はひとりひとりの生活のリスクに備えるためのものであり、多くの人々が保険料を出し合い助け合うためにあり、社会的に大きな役割を持っている事業です。損害保険の保険料は、事故の発生頻度や損害額など過去のデータに基づき算出される「純保険料」と、保険会社が事業を運営するために必要な費用(社費や代理店手数料、保険会社の利益(利潤)などからなる「付加保険料」で成り立っています。

今回のBM社の不正請求事件は、保険金不正請求による「純保険料」の増加で契約者の保険料の信頼性に揺らぎを生じさせ、自動車保険においては契約者が自動車保険を使うかどうかは修理金額によって判断しているにもかかわらず、修理金額の信頼性に揺らぎを生じさせました。当代理店で契約された方の中にも保険会社よりBM社の修理を紹介された契約者がいらっしやいます。該当する方に保険会社より今後の対応について案内があります。また、今後の対応や問い合わせ先は各社HPに掲載されています。(日本損害保険協会HPでは各社の今後の対応が紹介されています)

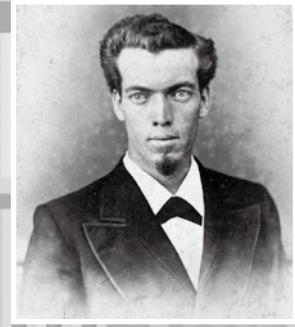
今後は、事故に遭われ、車両保険を使うときは、損傷箇所をカメラで記録保管し、保険会社が取った見積書の修理会社や見積内容を自分で確認し、保険会社の事故担当者任せにしないようにしたいものです。



大学文書館へ 行こう

第17回 「札幌の気象観測」

北海道大学大学文書館 井上 高聡



W・ホイラー

気象観測の始まり

今夏は非常に暑い七、八月でした。札幌では八月二十三日に三十六・三度を観測し、一九九四年八月七日の三十六・二度を上回って、観測史上最高気温を更新しました。二八七六年の統計開始以来、一四八年間で一番高い気温というニュースが駆け巡りました。さて、「一八七六年の統計開始」という表現が気に掛かります。一八七六年は札幌農学校開校の年、この統計開始に札幌農学校が関わっています。

北海道「開拓」に助言をしていた開拓顧問のホーレス・ケプロンらにより、早くから北海道で気象観測を行なう重要性が指摘されてきました。本州以南とは全く異なる気候の北海道を農業開発するためには、その気候にあつた農作物を適切な方法で栽培する必要があつたためです。実際に、日本では、函館、東京、札幌の順番で気象観測が始まっています。札幌で気象観測が始まったのは、一八七六年九月一日、札幌農学校開校(八月十四日)の半月後です。

観測を始めたW・ホイラー



開拓使本陣建物 W.S.クラーク離札にあたり建物前に札幌農学校生徒・教員などが整列している(1877年4月)

札幌で気象観測を始めた場所は札幌農学校外国人教師の宿舎であつた「開拓使本陣」(現在の東区南二条東一丁目)、観測を始めた人は札幌農学校外国人教師ウィリアム・ホイラー(一八五一〜一九三二年)です。ホイラーは、教頭として招聘を受けたW・S・クラークと共に札幌農学校に着任しました。マサチューセッツ農科大学学長

時代のクラークの教え子です。ホイラーは札幌農学校では工学や数学などの講義を担当し、札幌農学校演武場建物現在の札幌市時計台)の設計計画を提示したり、豊平橋を設計したり、運河開削を提言したりしています。土木工学が専門ですから、気象観測の機具の操作や統計整理にも長けていたことでしょう。観測を開始した翌日九月二日付けで、クラークは開拓長官黒田清隆に宛てて、「ホイラー教授は、輸入した機具一式を備えた立派な気象観測設備を整え、風、雲量、気温、湿度、気圧、降雪雪の時間・量を一日に三回観測します。」と報告しています。

ホイラーのレポート

札幌農学校の年次報告書である「札幌農學第一年報」(一八七七年)の英語版には、ホイラーが英文で「気象観測レポート」を掲載しています。一八七六年九月一日に気象観測を始めたこと、午前七時、午後一時、午後九時の三回、外気の気温、大気の圧力、水蒸気の圧力、湿度、風向、風速と進度、雲量、雲の形・種類に加え、雷、虹、光輪、地震、早霜、遅霜、凍結地面の深さ、さらに不規則的な異常現象の記録を取っていると記しています。翌年の「札幌農學第二年報」(一八七八年三月)の「気象観測レポート」には、北海道の気候が農業において極めて好適であること、同緯度あるいはやや低緯度に位置する他国で産する主要作物を栽培できる可能性があること、北海道が酷寒にして荒涼とした居住不可能な地域という昔ながらの説は、本州以南の衣服や家作や暖房の方法が適格的でなかったための誤解であること、などを説いています。

ちなみに、ホイラーが観測を始めて迎えた最初の夏、一八七七年の最高気温は八月七日に記録した華氏八七・八度(摂氏三〇・九度)でした。今年の最高気温を記録したのと同じ八月二十三日の最高気温は、華氏七四・三度(摂氏二三・〇度)です。

ホイラーの気象観測記録
("First Annual Report of Sapporo Agricultural College, 1877.")

その後一八九〇年、北海道庁は札幌農学校から農場敷地の一部の引き渡しを受け、「札幌測候所」を設置します。現在の北区北八条西九丁目付近、大学構内の「保育所ともに」の西側にあるテニスコートの辺りから、大学構外の北八条通が石山通に流れ込む交差点に建つマンションに掛けて、大学の内外に跨がる敷地です。一九三八年に札幌測候所が北海道庁から国に移管されて移転するまで約五十年にわたり、札幌の気象観測は大学のお隣りで行なわれていました。

北大生協には「学生・院生・留学生・教職員」の4つの組織委員会があります。

北大生協組織委員会報告

学生委員会

■オープンキャンパスで「北大生と話そう」など行いました！

8月6日(日)、7日(月)に行われたオープンキャンパスにて「北大生と話そう」「北大生と歩こう」という企画を行いました。「話そう」は受験生、保護者が受験や北大生活のことを北大生に質問、相談できる企画です。「歩こう」は札幌キャンパス内の行きたい場所へ北大生が案内しながら、雑談や相談する企画です。どちらも昨年より参加者が増え、参加者からは北大生とたくさん話すことで不安・疑問を解消できた、との声を多くいただきました。



また、冊子「NITOVE」作成配布やYouTubeへの動画投稿、YouTube Liveなども行いました。「NITOVE」は受験や総合入試、学食紹介などの記事を掲載しています。YouTubeでは購買・食堂ツアーや札幌周辺グルメ、キャンパスの風景動画などを載せています。ぜひご覧ください！



院生委員会

■北大生協ジンパデー開催！

8月には院生委員会が中心となりジンギスカンパーティーを開催しました。新型コロナウイルスが流行する前は大学院生のイベントとして例年ジンパが行われていましたが、今年は北大生協の理事や職員、他の委員会のメンバーや総代も集い、交流しながら北大の伝統であるジンギスカンを楽しみました。



■「ほんでないかい」編集集中！

北大の学生や教職員のおすすめの本を紹介する冊子『ほんでないかい』の編集を開始しました。今年度は本だけでなく新たに「おすすめの映画」部門も創設し、より多くの皆さんに興味をもってもらえるよう工夫しています。11月には冊子を発行し、12月に書籍部で開催される年末謝恩セールで『ほんでないかい』関連の企画を開催する予定です。乞うご期待！

留学生委員会

■ウエルカムパーティー2023を開催します！

10月には新規留学生向けの歓迎会であるウエルカムパーティーを開催します。留学生に北大生協の店舗やサービスの使い方を紹介したり、他の学生と交流して知り合いをつくるためのトークやゲームを行ったりします。より多くの留学生が参加し、楽しんでもらえるよう、留学生委員会では準備を進めています。

■食堂のハラルメニューについて議論しています！

留学生に安心して食堂を利用してもらえるようハラルメニューについて議論を行っています。現在はポブラ食堂のみでハラルメニューが提供されていますが、今後より多くの留学生が利用できるよう、提供する店舗やメニューの種類についてアンケート調査なども行いながら検討していきます。

International Students Committee (ISC)

We are preparing to have the "Welcome Party" for new international students in October. The purposes of the event are to introduce how to use the Co-op and to provide international students with an opportunity to make friends.

We are also discussing the halal menu served in the Co-op's cafeteria. We will analyze and consider the students' opinions to realize more various halal menu and more useful cafeterias.

教職員委員会

■教職員総代会議…8月はお休み月で、9月13日と14日に開催しました。学内コピー機についての意見や、お店の品ぞろえ、価格などについて意見交流しました。

■教職員委員会…9月14日に開催し、教職員総代会議で出された意見について意見を交わしました。またきぼうの虹の1月発行号の内容について議論しました。

■「きぼうの虹」…この冊子です。いままでは2か月に一度の発行でしたが、次号からは3か月に一度の発行とさせていただきます。次号は1月発行予定です。

【編集後記】

今年の夏は記録的な暑さでした。しかも長い。夜も暑い、湿度が高い。北海道はクーラー無しが普通でしたが、そうも言ってもらえないですね。勉強研究の環境として整備されていくことを願っています。生協店舗や食堂は、そんな組合員みなさんのひとときのオアシスとなるよう、おいしいメニューやデザート・アイスなど取り揃えてお待ちしています。10月からは後期授業開始ですね。後期もよろしくお願いたします。